

マレーシア・サラワク沖セライ・ガス田の開発段階への移行について

平成 15 年 2 月 5 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（社長：磯野 啓）が出資する日石サラワク石油開発株式会社(新日本石油開発株式会社・帝国石油株式会社・三菱商事株式会社・石油公団の出資による石油開発プロジェクト会社)は、マレーシア・サラワク沖 SK-8 鉱区内セライ・ガス田のガス生産設備建設に着手し、同ガス田が開発段階に移行しましたのでお知らせいたします。

日石サラワク石油開発株式会社は 1991 年 8 月にマレーシア・サラワク沖 SK-8 鉱区のプロジェクト会社として設立され、その後の探鉱活動の結果、1993 年にセライ・ガス田を発見しました。同ガス田においては、2004 年第 2 四半期からガス生産開始を予定しており、生産量は日量最大約 850 万立方メートルとなる見込みです。また、同プロジェクト会社の投資額は約 3 千 6 百万米ドル（約 43 億円）です。

なお、セライ・ガス田における日石サラワク石油開発株式会社の権益は 37.5%で、オペレーターのシェル社が 37.5%、残りの 25%は国営石油会社ペトロナスの子会社であるチャリガリ社が保有しています。また、本プロジェクトについては石油公団による支援を受けております。

日石サラワク石油開発株式会社では、現在、SK-8 鉱区内のジンタン・ガス田でも開発を行っており、同ガス田では、2003 年第 3 四半期からガス生産を予定しております。また、マレーシア・サラワク沖では、日石マレーシア石油開発株式会社（新日本石油開発株式会社・帝国石油株式会社・三菱商事株式会社・石油公団の出資による石油開発プロジェクト会社）も、SK-10 鉱区内でヘラン・ガス田の開発を行っており、同ガス田では、2003 年第 4 四半期からガス生産を予定しております。

当社は 2000 年 11 月、日石サラワク石油開発株式会社及び日石マレーシア石油開発株式会社の増資新株式を引き受け、株主（出資比率 15%）として当該プロジェクトへ参加しています。

以上